

# 留萌市立留萌小学校

指定年度：H26～  
児童数：294名

## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

- ① 教育理念や経営方針の浸透：教職員や保護者、地域住民との目的・目標・方策の共有化  
・グランドデザイン等による「目指す子ども像」及び「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す学校の姿の明確化

これまで、学校ごとに設定されていた目指す子ども像について、学習指導要領に示された理念や趣旨を踏まえ、中学校区3校で「目指す15歳の姿」として設定し、3校がそれぞれの学校のグランドデザインに明記することで、学校・家庭・地域で目指す子ども像の共有化が図られ、互いに協働しながら学校改善を進めることにつながった。

また、今年度は、グランドデザインに重点とした教育活動の数値目標を設定し、学校評価等との関連を図って学校経営を進め、家庭や地域にも取組状況が見えるよう工夫を図った。



【留萌小学校グランドデザイン】

- ② 協働意識の高揚：校務分掌を工夫した組織体制の確立  
・学校課題の解決に向けた組織体制の構築と校務分掌業務の改善

経営方針の具現化に向け、各分掌がチームとなって、具体的方策・評価方法・数値目標を検討し、分掌計画の見直しを進めた。

チームによる検討を通して、教職員の経営方針に対する理解が深まり、目標達成に向けた積極的な取組や経営参画意識の高揚につながった。

また、目標については「留小マニフェスト CHALLENGE 2020」として保護者や地域住民にも周知し、目標の共有化を進めるとともに、保護者アンケート等でも積極的に活用した。



【留萌小学校マニフェスト】

- ③ 人材育成：教員の経験年数等にに応じた育成計画  
・管理職等による日常的な巡回指導とメンターチーム方式によるブラッシュアップ研修の実施

「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善に向けて、管理職が日常的に授業を参観し、学級担任に指導助言を行うとともに、ミドルリーダーが講師となったメンター研修を意図的に実施し、計画的な人材育成に効果を上げている。



【メンター研修】

## 2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

- 中学校区が目指す目標、学校のマニフェストを保護者や地域に示すことで、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた目標の共有が図られた。
- 各分掌で数値目標を設定するなど、短期のPDCAサイクルを生かしたことで、教職員の経営参画意識が高まった。
- 児童アンケートにおいて、「授業が楽しい・分かりやすい」と回答する児童の割合が増えるなど、学校改善の取組が、授業改善や学習意欲の向上につながった。
- 数値目標の設定では、学校として十分に達成している「継続する目標」と次年度「高めたい目標」を明確に伝え、取組の重点化を図った目標設定としていく必要がある。
- 保護者アンケート等の外部評価の実施に当たっては、学校の取組内容を丁寧に説明する工夫を図り、評価の精度を向上させることが必要である。

児童アンケートの肯定的な回答の割合 (%)		
項目	H30	R2
授業で学習した内容はよく分かりますか	93.0	97.0
毎日の授業は楽しいですか	87.0	89.0